

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【公開番号】特開2020-81572(P2020-81572A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-222960(P2018-222960)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月15日(2020.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機において、

遊技制御手段と、

演出制御手段と、

可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、

遊技者の動作を検出する動作検出手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

始動領域に遊技媒体が進入したときに前記有利状態に制御されるか否かを判定し、

前記判定の結果に基づいて、前記有利状態に制御される変動パターンである第1変動

パターンと、前記有利状態に制御される変動パターンである第2変動パターンと、前記有

利状態に制御されない変動パターンである第3変動パターンと、前記有利状態に制御され

ない変動パターンである第4変動パターンと、を含む複数の変動パターンのうちいずれか

の変動パターンを決定し、

前記第1変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第1コマンドを送信し

、前記第2変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第2コマンドを送信し

、前記第3変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第3コマンドを送信し

、前記第4変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第4コマンドを送信し

、前記演出制御手段は、

前記第1コマンドを受信した場合に、所定リーチで前記有利状態に制御されることを報知する

ことが可能であり、前記第2コマンドを受信した場合に、前記所定リーチとは前記有利状態に制御される期待度が異なる特定リーチで前記有利状態に制御されることを報知する

ことが可能であり、前記第3コマンドを受信した場合に、前記所定リーチで前記有利状態に制御されない

ことを報知する

前記第4コマンドを受信した場合に、前記特定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記所定リーチに対応したタイトル報知および前記特定リーチに対応したタイトル報知を行うまでの所定期間において、共通の演出を実行可能であり、

前記第1コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記所定リーチに對応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記所定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記特定リーチに對応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記特定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記第3コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記所定リーチに對応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記所定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記第4コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記特定リーチに對応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記特定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記決め演出に関連する決め演出関連表示として第1態様と該第1態様よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第2態様とを含む複数の態様で該決め演出関連表示を表示可能であり、

前記特定表示の表示態様に応じて、前記決め演出関連表示が前記第2態様で表示される割合が異なる、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

特許文献1に示すように、操作手段が操作されたことに応じて演出を実行する遊技機として、操作手段を操作することを促す操作促進表示を、装飾図柄の変動表示中、停止表示中を問わずに表示するとともに、操作促進表示の表示態様を変化させる遊技機が提案されている。特許文献2に示すように、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機が提案されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2017-164504号公報(図97)

【特許文献2】特開2016-101428号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献1および特許文献2の双方の機能や構成を有する遊技機の商品性を高める余地があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、商品性を高めた遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段Y1の遊技機は、

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機において、遊技制御手段と、

演出制御手段と、

可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、

遊技者の動作を検出する動作検出手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

始動領域に遊技媒体が進入したときに前記有利状態に制御されるか否かを判定し、

前記判定の結果に基づいて、前記有利状態に制御される変動パターンである第1変動パターンと、前記有利状態に制御される変動パターンである第2変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第3変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第4変動パターンと、を含む複数の変動パターンのうちいずれかの変動パターンを決定し、

前記第1変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第1コマンドを送信し、

前記第2変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第2コマンドを送信し、

前記第3変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第3コマンドを送信し、

前記第4変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第4コマンドを送信し、

前記演出制御手段は、

前記第1コマンドを受信した場合に、所定リーチで前記有利状態に制御されることを報知することが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、前記所定リーチとは前記有利状態に制御される期待度が異なる特定リーチで前記有利状態に制御されることを報知することが可能であり、

前記第3コマンドを受信した場合に、前記所定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記第4コマンドを受信した場合に、前記特定リーチで前記有利状態に制御されない

ことを報知することが可能であり、

前記所定リーチに対応したタイトル報知および前記特定リーチに対応したタイトル報知を行うまでの所定期間において、共通の演出を実行可能であり、

前記第1コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記所定リーチに対応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記所定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記特定リーチに対応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記特定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記第3コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記所定リーチに対応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記所定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記第4コマンドを受信した場合に、前記所定期間が終了した後、前記特定リーチに対応したタイトル報知を通常態様と該通常態様よりも前記期待度が高い変化態様とのいずれか一方で実行可能であり、該タイトル報知が終了した後から前記動作検出手段の動作を促し前記有利状態に制御されるか否かを報知する決め演出までの複数のタイミングで前記特定リーチの演出態様を変化させて前記期待度を変化させることが可能であり、

前記決め演出に関連する決め演出関連表示として第1態様と該第1態様よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第2態様とを含む複数の態様で該決め演出関連表示を表示可能であり、

前記特定表示の表示態様に応じて、前記決め演出関連表示が前記第2態様で表示される割合が異なる。